平成20年1月3日（木）

「新年を寿ぎ奉る」

天津清音の幸音
澄み渡りて

地（くに）潤おす

千種の御恵みを
言祝ぎ豊寿ぎて

新世（あらたよ）を
称う

神真澄みの
弥光り（いやてり）を
感謝奉（いやびまつ）りて

永久なる弥栄を
神寿ぐ

あな清々し

あな美（うるは）し

皆さま
新年　明けまして　おめでとうございます。

矢加部オフィスは
新年１月２０日より、京都に移転します。
今後は、京都を拠点とし、さらなる弥栄のご奉仕をさせていただく所存ですので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。
（東京方面にも毎月定期的に参る予定です）

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.

平成20年1月24日（木）

「京都へ移転」

矢加部オフィスは、1月20日に京都に移転しました。
（正確には17日が引越し日です）

17日の夜遅く京都に入り、翌日が荷物の搬入。
荷物の開封と設置作業にかなりの時間を費やし何とか今3分２ほど片付けがすすみ、先が見えてきたところです。

新しい拠点は向日市（むこうし）といって、竹の里、かぐや姫伝説のある土地です。
古墳も多数あり、古代から歴史のある台地で、嵐山と長岡京が近くでなかなか風情があります。

竹の里といわれるように、竹林があちこちにあって、笛の音がとても似合いそうです。

大都会東京と違って、生活環境ががらりと変わりましたが、案外気にいってます。
これからは、京都を拠点に、さらなる弥栄のご奉仕をさせていただく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
（東京方面にも毎月定期的に参る予定です）

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.

平成20年3月24日（月）

「神ながらの道～京都で古神道ワーク」

東京、福岡でも大好評の古神道ワークショップ、悦月さんのご尽力により、先日、念願の京都でも開催させていただくことが出来ました。

大阪、大津から（3人も）、そして山梨からと、遠いところからもご参加いただき、本当にありがとうございました。

主催者の悦月さま、ご参加いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

（悦月さんは、「手相を書いて幸運をつかむ！」の著者でもある、有名な占いカウンセラーです。）
（悦月さんのホームページ
http://www.kokorobi.com/fortune.html）

神ながらの道は、自然ながらの道。
祈り合い、与え合い、祭り合いが、その本質でしょうか。

神は人の弥栄を祈り、人もまた神の弥栄を祈る…

神人和楽の寿ぎの場が、”さむはら”の弥栄の場が、行にひたすら取り組む、皆さまお一人お一人のエネルギーにて光の渦として創られていくことに、毎回驚嘆と感謝の思いを抱かざるを得ません。

今回の京都でのワークも、光の柱が皆さまお一人お一人に降りてきたようです。

これからもこのワークを通して、皆さまと一緒に、根源への帰一を、そして和解、和合へのプロセスを歩んで行くことが出来たらと思っております。

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.

平成20年4月13日（日）

「責　任」

私たちの心の中で
起きていることは

世界のどこかで
起きています

世界のどこかで
起きていることは

私たちの心の中でも
起きています

では

責任とは

何なのでしょう

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.

平成20年5月28日（水）

「美しき　源へ」

罪も穢れをも
美しく縒り合わせた

狂おしいばかりの
生命の渦に

わたしは断罪される
おののきとともに

さらに開いていく

もはやそれは
闇も光も超えて

いや
それすらも
もはや意味はなく

ただ　ただ
生命の渦に
おののきながら

わたしという生命を
痛みという至福とともに
差し出していく

罪も穢れも美しく
縒り合わせた
生命の渦で
あるがゆえに

その生命の狂おしい
ばかりの美しさゆえに

だからこそきっと
わたしは

断罪のおののき
とともに

和かく　泣きながら

その美しき源へ
戻っていくのだ・・・

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.

平成20年7月12日（土）

「松尾大社の磐座（いわくら）」

７月７日の七夕、また、縁ある方三人を、松尾大社の磐座までご案内させていただきました。

今年一月に京都に移転してから、まだ半年・・・
これまで何十人の方を、この神域までご案内させていただいたでしょうか。

不思議な神縁・・・

我が家も、この松尾大社のライン上にあり、窓を開けると、松尾の御山が近くに望め、そこから吹いてくる風が、我が家を心地よく吹き抜けていく毎日です。

登拝させていただく度に、石笛と龍笛を奉納し、全ての弥栄を祈念させていいただいています。

とても懐かしく、そして許されていて・・・・
優しく、包まれていくようで・・・

磐座の神域から降りてくると、その度に新しく生まれ変わっているようです。

この磐座は、星・・・・泉・・・・・
そして、宇宙への、宇宙からの、通り道・・・

私はこれからも、この磐座へ、縁ある方々を案内させていただくでしょう。

共に、新しく生まれ変わらせていただくでしょう。

共に、弥栄を祈らさせていただくでしょう・・・・

松尾の御山から、今日も我が家に、神さまが風とともに訪れてくれています・・・・

感謝

そして　あまた　弥栄

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.

平成20年11月4日（火）

「秦氏　古代ユダヤへのロマン」

先日、京都は丹波の国、亀岡の出雲大神宮へ、妻と参拝させていただきました。

遥かシルクロードを旅し、この日本にやって来たといわれる秦氏・・・

その秦氏縁の太秦（うずまさ）の地を抜け、丹波の国へ。

我が家の近くを流れる桂川の上流、保津川の渓谷は圧巻で、京都の水の豊かさを感じないではいられません。

この保津川の治水工事に成功し、京都を肥沃な土地にしたとされる秦一族・・・

京都が平安の都とされる以前より、この京都を平安京と呼んでいたとされる秦氏・・・

平安京・・・エル・シャライム・・・エルサレム・・・

古代ユダヤと秦氏に思いを馳せながら、古代磐座（いわくら）信仰の色濃く残る出雲大神宮へ・・・

弥栄　　イヤサカ　　ヤーサカ

あまたの弥栄の祈りとともに龍笛をご奉納。

その後、妻と二人で石笛をご奉納させていただきました。

ヤーサカ　　ヤーハヘ　　イヤサカ

磐座は振動
磐座は光
磐座は音・・・

磐座は水・・・

ヤーハエ　ヤハエ　　イワサカ　　イヤサカ

ヤーサカ　　ヤハヘ　　ヤーハエ　　ヤハヘ

私と妻は、平安を、弥栄を祈り、寿ぎ、音祝ぎ、秦氏縁の丹波の地の振動とともに、曽我部の地の霊場、穴太寺の秘仏を拝観し、帰路につきました。

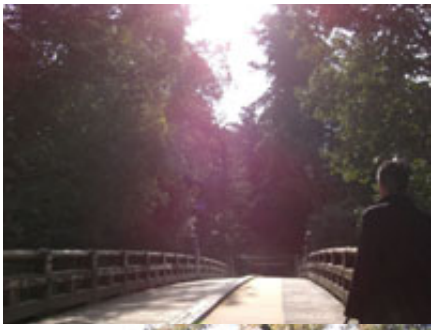
何やら古代のロマンを感じさせる丹波・・・
そして、我が家も何故か、都の西の、秦氏縁の嵐山から

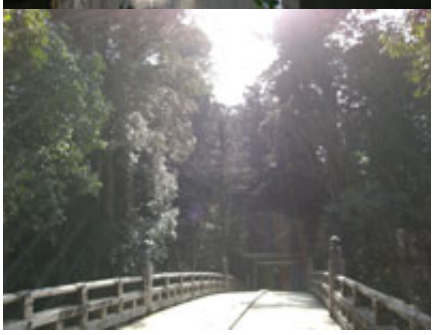
それほど遠くないところにあるのです・・・

エンヤラヤー.・・・
我こそは　神を　誉め　称え奉らん

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.

平成20年2月6日（水）





「春立つを　祝ぐ」

天輝し(あまかがし)
国輝し（くにかがし）

立ち還らむ春立つ
夜明（あかとき）を
寿ぎ

千秋万歳の
新豊を
祝ぐ

高御座（たかみくら）に
溢れし若水を
感謝奉り（いやびまつり）

幾千幾万の
永遠の巡りを
ここに称う

天輝し　国輝し

神ながら
霊幸えませ（たまちはえませ）

節分を京都の新居で祝い、立春を迎えて、伊勢神宮へ妻と神恩感謝の参拝に。神鎮ります伊勢の聖地は、黄金色（こがねいろ）に輝いておりました。

（妻と私は、伊勢の聖地にて石笛を授かりました）

copyright 2008 Yakabe office. All rights reserved.